

## 大学図書館問題研究会第 30 回京都支部総会議案

2007 年度 (2007.7 ~ 2008.6) 活動総括及び  
2008 年度 (2008.7 ~ 2009.6) 活動方針

### 1. 2007 年度活動総括

#### (1) 研究交流活動

2007 年度は下記のとおり、大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 2 ~ 5 回、京都ワンディセミナーと、計 5 回のセミナーを開催することができました。連続セミナー第 4 回では、ライブラリアン・セッションを行い、会員の発表の場を設けることができただけでなく、情報交換を行うことができました。また、関西 4 支部新春合同例会は今回、京都支部の担当であったため、U-20 プログラミング・コンテストに図書館システムを出品し最優秀賞を受賞された岐阜県立東濃実業高校ビジネス情報科の生徒さんと指導教諭の久保利光先生をお招きして講演会を行いました。

いずれのセミナー等も好評で、アンケートにおいても高評価を得ることができました。

#### A. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 2 回

テーマ：「Web2.0 時代の大学図書館」

日時：2007 年 7 月 15 日 (日) 13:30 ~ 16:30

講師：北克一先生 (大阪市立大学)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は 800 円 / 非会員は 1,000 円

#### B. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 3 回

テーマ：「目録サービスの進むべき道」

日時：2007 年 9 月 16 日 (日) 13:30 ~ 16:30

講師：渡邊隆弘先生 (帝塚山学院大学)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は 800 円 / 非会員は 1,000 円

#### C. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 4 回

テーマ：ライブラリアン・セッション

日時：2007 年 10 月 7 日 (日) 13:30 ~ 16:30

発表者：

福井京子さん (京都大学教育学研究科図書室)

「いま求められる図書館員：コンシェルジュの図書館員」

土出郁子さん (愛媛大学図書館)

「『闘病記』資料群の性格と愛媛大学における事例

坂本拓さん (京都大学文学研究科図書室)

「私たちが図書館員でなくなる時：危機管理の視点から」

呑海沙織さん (京都大学医学図書館)

「図書館員養成におけるメンター制度」

大綱浩一さん (京都大学附属図書館)

「大図研京都支部 Web サイトの紹介」

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：無料

D. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第5回

テーマ：「ポスト人文書空間において、学術出版はいかに可能か：『出版』再定義への試み」

日時：2007年11月11日(日)13:30～16:30

講師：長谷川一先生(明治学院大学)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は800円/非会員は1,000円

E. 関西4支部新春合同例会

テーマ：「『猫の司書さん』を創った！～高校生が語る図書館システム～」

日時：2008年2月2日(日)14:00～16:00

講師：久保利光先生，秋山貴俊さん，小栗しほさん，加納愛実さん

(いずれも，岐阜県立東濃実業高校ビジネス情報科)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：無料

F. 京都ワンディセミナー

テーマ：「大学図書館と著作権」

日時：2008年5月24日(土)14:00～16:40

講師：山本順一先生(桃山学院大学)

場所：京都市国際交流会館

参加費：大図研会員は無料/非会員は500円

(2) 支部報

今年度より，支部報の発行を隔月とし，一号あたりの内容の充実に努めました。セミナー等の感想や参加報告を掲載し，セミナー等に参加できなかった支部会員への情報提供をはかることができました。

今年度，発行した支部報の目次は，下記のとおりです。

1) 支部報 No.259(2007/08/15 発行)

- ・ 大学図書館問題研究会第29回京都支部総会を開催しました
- ・ 2006年度活動総括及び2007年度活動方針
- ・ 2006年度決算案及び2007年度予算案，会計監査報告
- ・ 2007年度大学図書館問題研究会京都支部役員
- ・ 本を読まなきゃ大学生じゃない-連続セミナー「知の変容と大学図書館」第1回参加報告-
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第3回のご案内
- ・ ライブラリアン・セッション発表申込みについて

2) 支部報 No.260(2007/10/15 発行)

- ・ 第4回大図研京都連続セミナー：「ライブラリアン・セッション」のご案内
- ・ 第2回大図研京都連続セミナー：「Web2.0時代の大学図書館」参加報告(1)
- ・ 第2回大図研京都連続セミナー：「Web2.0時代の大学図書館」参加報告(2)
- ・ 続京大図書館史こぼれ話 第十二回
- ・ 第5回大図研京都連続セミナー：「パブリッシングの変化」のご案内

3) 支部報 No.261(2007/12/15 発行)

- ・ 近畿 4 支部新春合同例会のご案内
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 3 回「目録サービスの進むべき道」参加報告
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 4 回「ライブラリアン・セッション」参加報告
- ・ 続京大図書館こぼれ話 第十三回
- ・ 大図研京都数珠つなぎ
- ・ 大学図書館問題研究会忘年会開催のお知らせ

4) 支部報 No.262(2008/02/15 発行)

- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第 5 回「ポスト人文書空間において、学術出版はいかに可能か - 「出版」再定義への試み」参加報告
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」のまとめ
- ・ グルジア旅行記・・・あれ、図書館は？

5) 支部報 No.263(2008/04/15 発行)

- ・ 大図研京都ワンディセミナーのご案内
- ・ 関西 4 支部新春合同例会  
「『猫の司書さん』を創った！～高校生が語る図書館システム～」参加報告(1)-(4)

6) 支部報 No.264(2008/06/15 発行)

- ・ 大学図書館問題研究会第 31 回京都支部総会のお知らせ
- ・ 大学図書館問題研究会第 31 回京都支部総会第 1 号議案
- ・ 第 9 回灰色文献国際会議に参加して
- ・ 全国大会のお知らせ

(3) ホームページ,メーリングリスト,メールマガジン

支部報の目次の遡及入力完了し、支部のホームページにおいて支部報 No.1 以降の目次を閲覧することが可能になりました (No.151~169 を除く)。No.150 以前については、発行年月日の情報が未入力なので、今後の課題となっています。また、今後は、セミナー等のイベントの、アンケートのコメントや写真等を掲載していくように努めるなど、より充実したコンテンツの提供を試みました。イベントのお知らせや、支部活動の記録など、順調に更新されており、2008 年 6 月 12 日現在、3,863 アクセスを得ています (2006 年 8 月 22 日にアクセスカウンター設置)。

メールマガジンは、「大図研京都支部 NewsLetter」として、no.29 (2007 年 7 月 2 日) から no.56 (2008 年 6 月 24 日) を発行しました。2008 年 1 月 (No.45,2007.12.28) 以降、月 1 回のイベント案内を発行し、好評を得ています。

(4) 組織活動

会員数は、69 名 (2007 年 7 月) から 67 名 (年度末現在) と、2 名減少しました。会員数変動の内訳は、新規入会者 10 名、退会者 12 名です。会員数減の主たる理由は、定年退職に伴う退会です。但し、会員数は減少しているものの、昨年度に続いて今年度に関しては最小限にとどめられたのではないかと思います。

(5) 財政

財政については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行いました。また、昨年度に引き続き、支部委員3名体制による会費納入率の向上に努めました。

2007年度についても昨年度と同様、重点的に3年以上会費を滞納している会員(以下、長期滞納者)を減らすことに努めた結果、昨年度の5名から2名まで減らすことができました。

また、会費徴収スケジュールに則った計画的な督促業務を行うことによって、未納率を下げることができました。各年度の未納率は次のようになっています。2005年度3%、2006年度3%、2007年度8%、2008年度61%(2002-2004も3%)

2. 2008年度活動方針

(1) 研究交流活動

会員のニーズに応じた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成に役立てるため、セミナー等を2回以上、開催します。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実、メールマガジンの発行など、一層の努力をします。

(2) 支部報

今年度も継続して、定期発行に努めます。自己啓発や会員間交流につながる「読む」支部報にとどまることなく、会員へ「発表の場を提供する」支部報作りに努力します。

(3) ホームページ、メールマガジン

京都支部の活動に関する情報をわかりやすく提供するために、ホームページの更新を行います。

また会員に対して、支部の活動状況等を迅速にお知らせする媒体として、メールマガジンを定期的に発信するように努力します。

(4) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。セミナーなどあらゆる機会をとらえ、入会の勧誘に務めるだけでなく、魅力的な会報づくりや有益なセミナーの開催、会員交流の場の提供など、充実した支部活動を行います。

(5) 財政

個々の会員への個人別会費納入状況のお知らせや振込用紙の発送を今年度も引き続いて行い会費納入率の向上に努めます。支部委員会において毎回担当者から報告・提案を受け、会費納入率向上に向けて支部委員全員で取り組みます。

また、セミナー等の企画については、他支部との共催等による経費の節減を模索します。